

Financial Results

財務情報(要約)

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	17/3期 前第2四半期	18/3期 当第2四半期
売上高	7,592	8,263
営業利益	877	1,003
経常利益	935	1,008
親会社株主に帰属する四半期純利益	557	674

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	17/3期 前期末	18/3期 当第2四半期末
流動資産	6,221	6,297
固定資産	1,430	1,725
資産合計	7,651	8,022
流動負債	3,759	3,801
固定負債	1,033	1,030
負債合計	4,793	4,831
株主資本	2,590	2,935
資本金	300	300
資本剰余金	277	332
利益剰余金	4,164	4,706
自己株式	△2,152	△2,405
その他の包括利益累計額	42	43
非支配株主持分	225	212
純資産合計	2,858	3,191
負債・純資産合計	7,651	8,022

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	17/3期 前第2四半期	18/3期 当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	932	858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△413	△332
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,080	△152
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	△11
現金及び現金同等物の増減額	1,587	361
現金及び現金同等物の期首残高	2,197	3,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,785	3,706



Corporate Data

会社概要

会社概要

社 名	株式会社ハーツユナイテッドグループ (Hearts United Group Co., Ltd.)
設 立	2013年10月1日
資 本 金	300百万円
発行済株式総数	23,890,800株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:3676)
グ ル ー プ 会 社 (※は関連会社)	株式会社デジタルハーツ DIGITAL Hearts USA Inc. DIGITAL Hearts (Shanghai) Co., Ltd. Aetas株式会社 株式会社フレ임ハーツ EVO Japan 実行委員会有限責任事業組合 * 株式会社ZEG
従業員数(連結)	662名(2017年9月30日時点)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日 定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 T E L 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	http://www.heartsunitedgroup.co.jp/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、投資家の皆様向けの情報をはじめ、事業内容や最新のニュースなど、さまざまな情報を公開しています。

▶ <http://www.heartsunitedgroup.co.jp/>



株主通信

2018年3月期

第2四半期連結累計期間 2017.4.1 ▶ 2017.9.30



株式会社 ハーツ ユナイテッド グループ

証券コード：3676

To Our Shareholders

株主の皆様へ

「第2創業期」を迎えた今、スピード感ある改革を実行し飛躍的な成長を目指します

当期の上期は、経営体制やグループ組織体制の変更等、新たな成長ステージに向け大きく舵を切った、ターニングポイントとなる期間であったと考えております。

当社グループを取り巻くデジタル関連市場では、技術革新に伴うソフトウェアの複雑化やあらゆるモノがインターネットにつながるIoTの加速等を背景に、複雑かつ精度の高いテストを効率的に実行するため、専門的な知見やノウハウのある専門企業にテスト工程をアウトソーシングする傾向が一層高まっております。

当社グループは、これらの事業環境を追い風に、ビジネス機会を着実に捉え、飛躍的な成長を実現するため、これまで培ってきた圧倒的なテストノウハウや豊富な人材を活かした独自性の高いビジネスを多様な産業へと展開して参ります。

そのためには、従来の仕組みや概念を一度壊して再度作り直すような、ダイナミックな改革が必要であり、その準備が今まさに整いつつあります。

当期の上期は、既存領域であるエンターテインメント分野におけるデバッグサービスが好調に推移し、第2四半期連結累計期間として過去最高の売上高・営業利益を更新いたしました。下期は、既存領域におけるさらなる成長に加え、新規領域における取り組みの成果も出せるよう、スピードある経営を実行して参ります。

株主の皆様におかれましては、是非、今後の当社グループにご期待いただき、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



Financial Highlights

決算ハイライト

第2四半期の売上高・営業利益はともに過去最高を更新

第2四半期連結累計実績			
	17/3期 2Q	18/3期 2Q	前年同期比
売上高	7,592	8,263	108.8% ↑
営業利益	877	1,003	114.3% ↑
経常利益	935	1,008	107.8% ↑
親会社株主に帰属する四半期純利益	557	674	120.9% ↑

**決算のPoint**

☒ デバッグ事業が好調に推移し業績を牽引

☒ 新経営体制への移行に伴い、マネジメント層をはじめとする人材投資を実施し、経営基盤を強化

セグメント別の概況

デバッグ事業

発売前の製品の不具合をユーザー視点から検証して報告

● 売上高

6,944 百万円

(前年同期比115.7%)

● セグメント利益

1,594 百万円

(前年同期比117.1%)

売上高 構成比

82.8%

- 当第2四半期のハイライト
- 売上高・セグメント利益ともに2桁成長を実現
 - コンシューマゲーム及びモバイルゲーム向けのデバッグ案件が好調に推移

通期の見通し

引き続きデバッグ需要が拡大し、下期さらに成長する見通し

メディア事業

日本最大級の総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」等の運営

● 売上高

271 百万円

(前年同期比100.9%)

● セグメント損失

△80 百万円

(-)

売上高 構成比

3.3%

- 当第2四半期のハイライト
- ゲーム情報サイト「4Gamer.net」の広告サービスは安定的に推移
 - 2018年1月に開催予定の格闘ゲーム大会「EVO Japan」に係る先行投資を実施

通期の見通し

「EVO Japan」の収益は4Qに計上見込み

クリエイティブ事業

コンテンツ制作におけるクリエイティブ領域全般の制作サポートサービスを提供

● 売上高

739 百万円

(前年同期比116.4%)

● セグメント利益

81 百万円

(-)

売上高 構成比

8.8%

- 当第2四半期のハイライト
- 新規案件の獲得及び厳格なプロジェクト管理の徹底により、収益性が大幅に改善

通期の見通し

制作体制のさらなる強化により堅調に推移する見通し

その他の事業

主にシステム開発事業を展開、グループ独自のノウハウの活用・シナジーを追求

● 売上高

427 百万円

(前年同期比60.4%)

● セグメント損失

△38 百万円

(-)

売上高 構成比

5.1%

- 当第2四半期のハイライト
- システムエンジニアリングサービスの売上が減少し減収減益
 - システムテスト事業拡大のためデバッグ事業を展開する㈱デジタルハーツの本社所在地に移転

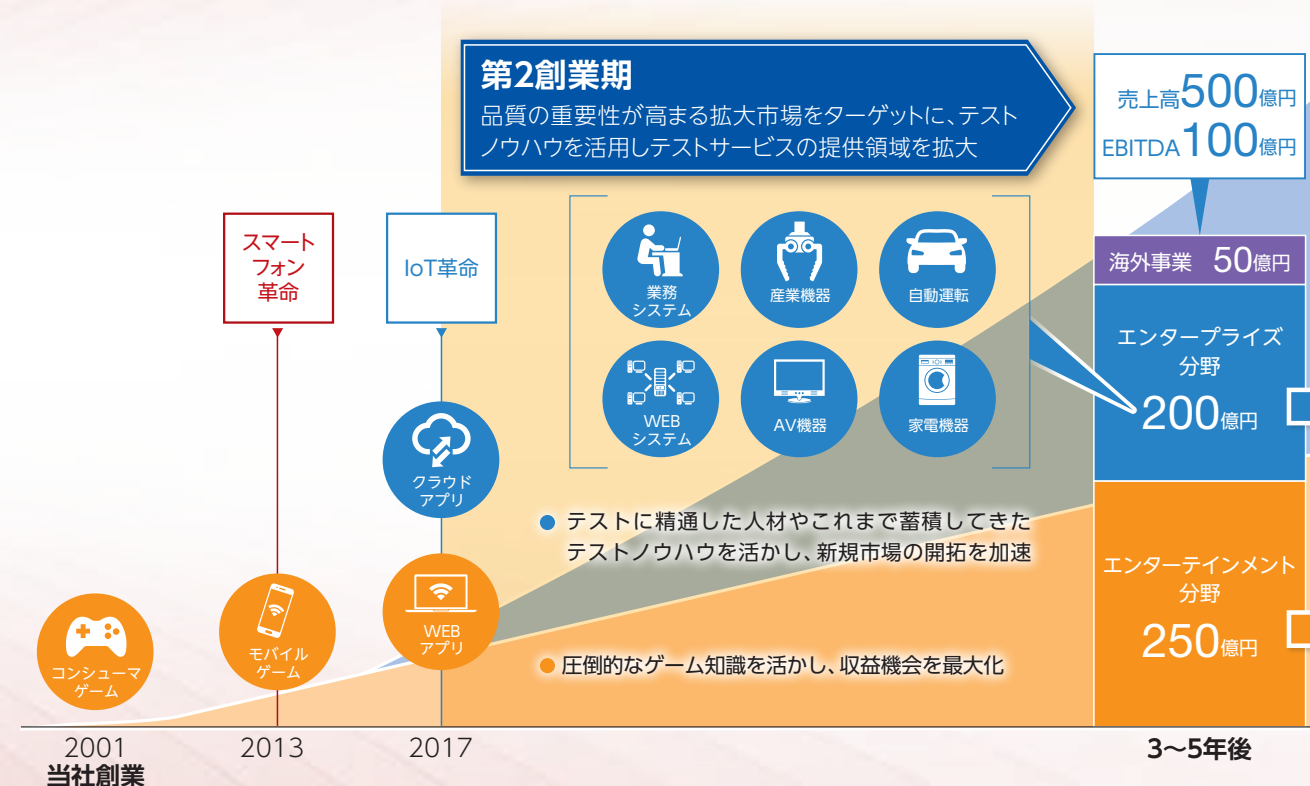
通期の見通し

㈱デジタルハーツと合併し、間接費の削減等により収益構造を改善

テスト市場No.1プレイヤーへ

ー第2創業期における当社の取り組みー

当社グループは、新経営体制のもと、飛躍的な成長を遂げるための経営改革を開始いたしました。既存事業への成長投資を推進するとともに新規分野へ積極的にチャレンジすることで、テスト市場No.1プレイヤーを目指して参ります。



デバッグ・システムテストを中心とした人材の採用・育成に注力

- Lab.(ラボ)投資
- エンジニア採用
- 人材育成強化
- ダイバーシティの推進

エンタープライズ分野

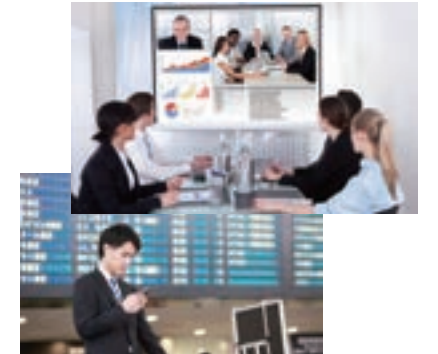
エンターテインメント分野で培ったテストノウハウを活かし、独自のソリューションサービスを展開、第2の事業の柱へ

事業環境

- ☑ IoT化が加速
- ☑ テスト対象製品が増加
- ☑ テスト規模が拡大

当社グループの取り組み

- ☑ 人工知能(AI)の活用やテスト自動化を促進し、テストの効率化を加速
- ☑ 豊富な人材とテクノロジーを活用した独自のサービスを提供
- ☑ ITサポートやセキュリティに関する新規事業を開始



エンターテインメント分野

独自のポジション・圧倒的なゲーム知識を活かし、業界No.1のゲームサポーターへ

事業環境

- ☑ スマートフォンの普及
- ☑ Nintendo Switch™等新ハードの登場
- ☑ リリース後の運営が重要化

当社グループの取り組み

- ☑ テストに関する傾向分析、工数予測ができるバグデータベースシステムを構築
- ☑ 豊富なゲーム知識を活かしたカスタマーサポートを新規事業として開始
- ☑ コアなゲーマーを武器にした新サービスを拡充



多様かつ豊富な人材プラットフォームを拡大

- ☑ デバッグの作業拠点であるLab.(ラボ)の全国展開を強化、地方における潜在労働力の顕在化を促進
- ☑ タレントマネジメントシステムを構築し、人材管理と人材育成の仕組化を加速
- ☑ 独自の人事テストを導入し、技術・スキルの体系化及び定量化を推進



Focus

新たなスタートを切った第2創業期。
サービスの拡充やその販売体制を強化し、
飛躍的な成長を目指す。



カスタマーサポート事業 を新たに開始

ユーザー満足度に直結するカスタマーサポート業務の重要性が高まる一方、ゲーム内容の複雑化やプレイ環境の多様化等により、不具合や誤作動の発生件数が増加するとともに、その問い合わせ内容も、ゲーム内容に関するものから、ソフトウェアの構造に関するものまで多岐にわたることから、カスタマーサポート業務が高度化しています。
当社グループでは、ゲームのリリース前の検証において、不具合や誤作動の発生原因に関する情報等、豊富な知見を蓄積していることから、これらをお客様サポートに活かすことで、付加価値の高いカスタマーサポートサービスを提供して参ります。



新サービスの提供を 続々と開始

昨今、多様なシステムテストの実績を持つ当社グループに対し、自動化ツールを活用したテストニーズが増加しております。このため、当社グループでは、テクノロジーと人材サポートを組み合わせたサービスの開発を推進しており、この度、システムテスト分野においては、マイクロフォーカスエンタープライズ(株)及び日本ヒューレット・パッカード(株)との協業により、世界有数の負荷テスト自動化ツールを活用した新サービスの提供を開始するとともに、セキュリティ分野においては、サイバーセキュリティのリーディングカンパニーであるエフセキュア(株)との協業により、脆弱性診断サービスの提供を開始いたしました。

エンタープライズ分野

松山Lab.(ラボ)を 新設

当社グループでは、これまで全国13カ所でデバッグの作業拠点であるLab.を展開し、積極的にテスター人員を採用・育成することで、受注体制を強化するとともに、雇用の創出を通じた地域活性化に取り組んで参りました。
この度、これらの取り組みの一環として、新たに松山Lab.を開設いたしました。松山Lab.は、当社グループとしては初の四国地方で開設するLab.であり、これまでアプローチできなかった地方における潜在的な能力を持つ人材の登用を進めて参ります。

人材の確保・育成



Dividends & Shareholder Returns

株主還元

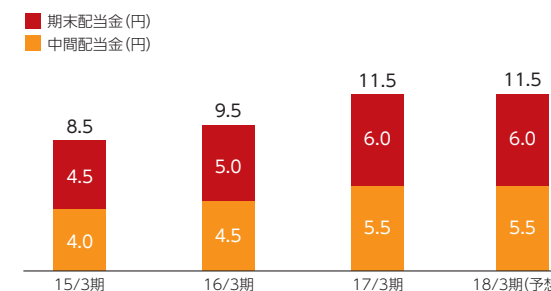
安定的な配当を継続

当社は、株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置づけ、連結業績等を総合的に勘案しながら配当を実施いたします。

当期の中間配当金につきましては、期初予想通り5.5円の実施を決定いたしました。期末配当金は6.0円を予想しており、これにより年間配当金は11.5円と前期と同額の安定した配当を実施する見込みです。

今後も、株主の皆様の応援に応えるべく、さらなる事業成長を目指し、企業価値の向上を図るとともに、株主の皆様への還元に努めて参ります。

配当金の推移



※2016年10月1日を効力発生日として1:2の分割を実施。
そのため17/3期中間配当以前の配当状況はこれらの分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の金額を記載しております。

株主優待制度

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象としております。



保有株式数	株主優待品
1単元(100株)以上2単元(200株)未満	おこめギフト券(3Kg分)
2単元(200株)以上	おこめギフト券(6Kg分)

Close Up

第2創業期 本格始動！

当社は、2017年6月より、新たな経営体制へ移行いたしました。

この新経営体制のもと、次なる成長ステージへの飛躍に向け、グループ一丸となった変革を推進するため、グループ社員総会等を開催し、価値観の共有を図るとともに、グループ連携のさらなる強化を目的に、主力のデバッグ事業を展開する主要子会社である(株)デジタルハーツの本社所在地に、グループ各社のオフィスを集約いたしました。

今後も、スピード感のある改革を推進し、さらなる成長を目指して参ります。



中長期事業戦略に関する社内説明会の様子